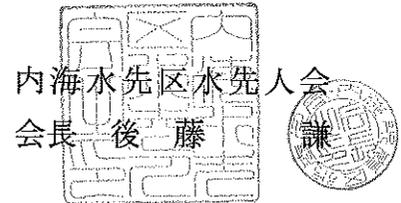


2009.03.25

内海 09-010

(社) 日本船主協会
外国船舶協会 御中
外航船舶代理店業協会



大分国際海上VHF海岸局の再開について（お知らせ）
[呼出名称：インランドシーパイロットセキサキ]

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当会水先業務に関し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記VHF海岸局は諸般の事情により昨年7月から休止中でありましたが、その後も再三に亙り豊後水道沖合いを通航する船舶から同局宛の呼び出しが大分ポータルラジオ局にあることから、同局の運営者側においても港務通信業務に支障を来していること、更には水先要請船舶に水先人が乗船した際にも本船船長から乗下船時刻の変更や、乗下船用設備の設置舷に関する事前確認等、実務上の面でも支障がある旨の苦情が数多く寄せられております。

よって、当会として何時までもこの事態を看過することが出来ないとの判断から、早期再開局を実現するため、運営費用の在り方等を含め具体的な対応策を検討し、先般来、日本船主協会ご担当者殿にも上記の事情を充分にご説明したところで、このような状況を何時までも続けることは、我が国の海運界としても問題であると考え、その改善のため来たる4月1日より同局を再開すべく、関係先に所定手続を採らせていただきましたので、ご通知申し上げます。

因みに、瀬戸内海各地におけるVHF関連費用は現在、水先料コストに一切含まれておらず、当会負担額は年間で総額1,600万円となっております。当会としては本来このVHF無線局の受益者は、これを活用する船舶にあると認識しているところであります。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

つきましては、来たる4月1日以降の豊後水道通過船で関埼において当会水先人を要請される船舶については、当初の要請時間等に変更がある場合、早めに大分国際海上VHF海岸局との通信により、その都度当会宛にご通知願えるよう貴傘下各社にご周知の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

敬 具